

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 143 8月号

2017年8月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>



携帯専用サイトへは、
左のQRコードから
(<https://www.lib100.nexs-service.jp/tatsuno-city/mobile/index.do>)

読書と私 No.134

「図書館は私の銀河鉄道」

揖保川町 長尾 智子

たつの市の図書館には中学以来お世話になっているので、60年近い幼友達の1人のように思っています。若い日は多読乱読飛ばし読みの読書。子育て時は読み聞かせの読書。多忙な中年期はこの幼友達と疎遠になった期間。高齢者の仲間に入った今は幼友達と再会した思いで図書館へ行っています。

新聞の切り抜きが好きなので、興味有る事を調べる為に職員の方に相談してはお世話になる事も多いです。幸い時間があるので、じっくり読める文学書や好きな時代の歴史物も読み始めました。最近では井上靖著『流沙』や葉室麟著『緋の天空』を借りて読みました。しかし若い時と違って理解が遅い事を痛感しました。そこで雑記帳を作り、1回目は人物の関係図、場所、時代背景、感動した文章等を書き抜きながらおぼろげに理解し、2回目にやっと名作の奥深さに心揺さぶられて読み終える至福の時間を味わいました。

『流沙』ではシルクロードをめぐる広大な世界歴史の旅、『緋の天空』では光明皇后を取り巻く飛鳥・奈良時代の日本旅を楽しみました。だから図書館は、古今東西未来への時間旅行をする私の銀河鉄道と言えるのです！切符も時刻表も持たない自由な一人旅です。映画「東京物語」の中に「一日がこんなにも長かったとは！」という老人の言葉がありました。しかし読書という楽しい旅をすると高齢者の一日も短いのです！また高齢者にしのび寄る「孤独」と程よい距離を保てると思います。若い時にはできなかった、ゆっくり読書から私は当分抜け出せそうもありません。その上で1冊でも忘れ得ぬ本に出会う事ができたならば、老いの日も又楽しからずやと思うのです。

今、私は揖保川図書館にお世話になっています。ここは四季折々の揖保川の流^{さえず}れを一望でき、春には見事な桜堤を眼下に見渡せます。土手に下りると野鳥の囀りが聞こえ、目を凝らすと足元に野の花が咲いている素敵な図書館です。それにもまして職員の方の親切な対応にはいつも感謝しつつ銀河鉄道に乗車してはほっこり旅しているこの頃です。

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『江戸のベストセラー』 清丸 恵三郎 著 洋泉社



江戸時代、木版印刷の普及により商業出版が本格化すると、本は庶民にとって身近なものとなった。

本書は、活況を呈した江戸期の出版物について「誰が企画を出し、それをどのように書いて、なぜ売れた

のか？」その出版事情にスポットをあてて、ヒットの秘密を解説した書である。

ベストセラーの1つである『武鑑』は、大名家及び幕府役人の名鑑で、藩主名、石高、系図はもとより大名行列の道具、献上品、駕籠の位置までもが図入りで記されている。諸大名にとって他の大名の情報は必要不可欠なもので、そのニーズに目をつけたのが、出版ビジネスでは一日の長があった京都の本屋だった。この本の

売上は年間で推定1万冊。「千部振舞（せんぶふるまい）」といって、千部売れば本屋は神社に御礼参りに出たことを考えると、いかにヒットしたかがうかがえる。

また、『曾根崎心中』には「江戸の文春砲」、『江戸繁昌記』には「貧乏儒者のコンプレックスが生んだ漢文専門書」など、その本を表現する独特のキャッチフレーズがつけられており、興味をかきたてられる。

算数指南書、江戸タウンガイド、ホラー小説、健康読本、遊郭風俗ガイド…実に様々なジャンルの本が江戸の人々に読まれた。人々が何を思い、何を求めたのか、本はその時代を映し出す。数百年後の未来に生きる人が今の世をたどる時、どんな本が「平成のベストセラー」として語られるのかと考えると想像が尽きない。

(御津図書館 岡村)

トピックス

イベントのお知らせ

※申込、問い合わせは各図書館まで

巡回展示

御津図書館

鳥たちの落としもの
～ 兵庫の鳥の羽根展示 ～

鳥の羽根の展示をします。説明会のあとには鳥の羽根を使った帽子作り教室もします。

【展示】 【期間】 8月3日(木)～27日(日)

【説明会】 【講師】 市原 晨太郎さん
【日時】 8月12日(土) 10時30分～11時
【場所】 御津図書館 1階フロア 【申込】 不要

【羽根つきぼうしを作ろう!】
【日時】 8月12日(土) 11時～11時40分
【場所】 御津図書館 2階多目的室
【対象】 4歳以上(小学2年生以下は保護者同伴)
【定員】 10名(先着順) 【持ち物】 はさみ のり
【申込】 御津図書館(電話可)

新宮図書館

おはなしのじかんのあとは
うごくおもちゃをつくろう!

おはなしを聞いた後に、えりまきとかげをつくれます。

【日時】 8月19日(土) 10時15分～11時45分

【場所】 新宮図書館

【対象】 5歳以上(小学1年生以下は保護者同伴)

【定員】 20名(先着順)

【持ち物】 割り箸(1膳)

トイレットペーパーのしん(1本)

のり はさみ おりがみ

(あれば 黒と赤のマジック)

【申込】 新宮図書館(電話可)



揖保川図書館

アクアホール・揖保川図書館共催事業

光源氏とティータイム

アクアホール「たつの能」との共催事業として、レクチャーイベントを行います。
源氏物語講演会・源氏物語絵巻復元画展示・源氏流いけばなの再現展示と、様々な催しを実施します。

【講演会】 源氏物語講演会(全4回・要申込)

- 第1回 「龍野の源氏流いけばな」 9月18日(月・祝)
- 第2回 「源氏物語千年紀」 10月12日(木)
- 第3回 「能楽『葵上』」 10月26日(木)
- 第4回 「石山寺の伝説」 11月16日(木)

【講師】 岩坪 健氏(同志社大学教授)

【場所】 アクアホール 1階リハーサル室 ほか

【対象】 一般(中学生以上)

【定員】 各50名(先着順)

【申込】 揖保川図書館(電話可) 8月25日から受付開始

おすすめする子どもの本・132

『チムとルーシーとかいぞく』

エドワード・アーディゾーニ 作 なかがわ ちひろ 訳 福音館書店



船乗りの少年・チムは、乗っていた船が難破したので次に乗る船を探していたところ、お屋敷住まいのルーシーと出会いました。ルーシーから話を聞いたグライムズおじさんは快く船を買ってくれ、みんなで航海に出ることになりました。

船出に備えてチムとルーシーは船のペンキぬりを手伝い、乗組員はおそろいのセーターで士気を高め、いよいよ航海が始まります。ルーシーはチムから船のことを教えてもらい、二等航海士とも仲良くなり、海の暮らしが大好きになりました。

そのうちに海が荒れだしました。波間に漂ういかだに人が乗っているのを見つけた

船員たちは、救命ボートを繰り出し助けました。ところが、乗りこんできたのは人相の悪い男達でした。そして、その男達が船の乗っ取り計画を立てているのを、チムとルーシーは聞いてしまいます。男達は海賊だったのです。「たいへん！ どうしたらいいの？」と言うルーシーに、「ぼくにまかせて」と言って、チムは倉庫に海賊たちを閉じ込め、船長に急を知らせます。

船乗りとして一人前の働きをするチムに目を見はり、海賊の出現にハラハラさせられますが、チムの機転で、海賊たちがつかまるのは痛快です。

小さな船乗りのチムが船での冒険をする『チムとゆうかなせんちょうさん』シリーズの2冊目。読んであげるなら5歳くらいから。
(揖保川図書館 大西)

『カルペパー一家のおはなし』 マリオン・アピントン 文 清水 真砂子 訳 瑞雲舎

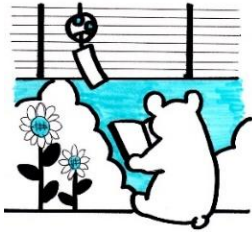


デビーのお父さんが、紙を切り抜いて人形の家と紙人形たちを作ってくれました。ひげを生やしたお父さんと帽子をかぶったお母さん、4人の男の子と4人の女の子の家族に、カルペパー一家と名前を付けました。作っている途中で、4人つながっている女の子の1人が切り離されてしまい、この子はアンジェリーナと名付けられました。

ある日、アンジェリーナの姿が見えなくなり、みんなで探していると、テーブルの上の本の間に頭だけを出して、挟まっているのを見えました。アンジェリーナは本のしおり代わりに使われていたのです。カルペパーさんは男の子たちを呼んで、物差し

の片方の端を本に差し込み、もう一方の端に体重をかけて、ページを持ち上げ、無事アンジェリーナを助け出すことができました。また、ある日カルペパーさんは、怪物だと思ってねずみ穴に近づき、ねずみとりのわなに挟まってしまいますが、体が薄いので、少しもしわになっていませんでした。みんなで子ども部屋の汽車に乗って楽しんだり、4人の男の子たちがくもの巣に引っかかったりと、カルペパー一家は賑やかです。

紙人形ならではの体の薄さから困ったことに巻き込まれることもあります。お互いに助け合い、日々の暮らしは楽しいことがいっぱい。紙人形の友だちがほしいというカルペパー一家の願いが叶う結末も、嬉しい気持ちが広がります。小学2年生くらいから。
(新宮図書館 藤川)



8月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

新宮図書館 【対象】2～4歳児、保護者

14日(月)・20日(日)・28日(月)
11時～11時20分
『ティッチ』他

揖保川図書館 【対象】2～4歳児、保護者

5日(土)・12日(土)・19日(土)
10時30分～10時50分
『おんぶにだっこ』他

御津図書館

【対象】1～4歳児、保護者

13日(日)・20日(日)
11時～11時20分
『あかいぼうし』他

【対象】5歳児～

13日(日)・20日(日)
11時30分～11時50分
『アンディとらいおん』他

★ おはなしのじかん【対象：5歳児以上】・・・昔話などの語り、絵本の読み聞かせなど

新宮図書館

5日(土)・12日(土)・19日(土)・26日(土)
10時15分～10時45分
「アナンシと五」他

※19日は引き続きイベント有り(要申込)。詳細はP2をご覧ください。

揖保川図書館

5日(土)・12日(土)・19日(土)
11時～11時30分
『ヘンゼルとグレーテル』他

★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

龍野図書館

25日(金)
10時～11時30分
『散るぞ悲しき』梯 久美子 著

揖保川図書館

18日(金)
10時～12時
『真珠夫人』菊池 寛 著

御津図書館

16日(水)
13時30分～15時30分
『山桜記』葉室 麟 著

館内特集・展示 (一部紹介)

龍野図書館

動物園・水族館 の仲間たち

動物や魚たちの生き生きとした写真集、飼育・研究・展示の裏話など、この夏、動物園や水族館に行きたくなるような本を展示しています。

【期間】8月30日まで

新宮図書館

私らしく暮らす 心地よく暮らす

インテリア・料理・園芸など各分野の本から、豊かな暮らしのヒントを発見してみてください。

【期間】9月中旬まで

山へ!

8月11日の山の日にあわせて、登山の本や山岳小説を集めています。

【期間】8月30日まで

揖保川図書館

おとなりの国

知っているようで知らない。近いようで遠い。“おとなりの国”を考えてみませんか。

【期間】8月16日～
9月27日まで

〈児童展示〉

なかよし

みんななかよし♪読んで幸せな気持ちになるような本を集めました。

【期間】8月30日まで

御津図書館

自然にふれる

身近な自然を再発見! 動植物やアウトドア、写真集、生活活用術など、体験したり、学んだり、食べたり、癒されたり...

自然をテーマに様々なジャンルから本を展示しています。

【期間】8月30日まで